

科目名 (科目番号)	障がい児・者の福祉 (時間割参照)	教員名	椎名清和	学科等	理学療法	選択	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	本キャンパス	
授業概要		障害者福祉の基本理念や制度を学びます。「障がい」の有無にかかわらず誰もが自分らしい生活を送れるようになるための制度について考察していきます。授業は、教科書を補足するためにパワーポイントを用いて進めていきます。また、厚生労働省や内閣府、自治体のホームページなどを参照しながら、授業を進めることがあります。最新動向についても授業に盛り込んでいく予定です。						
目的・目標		目的：障がい児・者の生活を支えるために必要な事柄を知り、福祉職等と協働して理学療法を实践できる。 目標：障がい児・者の生活を支えている諸制度について、その概要を説明できるようになる。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション 障がい児・者の状況		到達目標：障がい児・者の法的定義等を理解し、現状を説明できる。 学習内容：障害者基本法等における定義、「障害者の状況」				
	2	障害者福祉の理念と歴史		到達目標：障害者福祉の理念について説明できる。 学習内容：ノーマライゼーション、障害者権利条約、合理的配慮				
	3	障害者に対する法制度 (1)		到達目標：障害者福祉に関する各法に何が規定されているのかを説明できる。 学習内容：身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、 〈精神保健福祉法〉、発達障害者支援法				
	4	障害者に対する法制度 (2)		到達目標：障害福祉サービスの体系や内容を、介護保険のそれと比較しながら説明できる。 学習内容：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 〈障害者総合支援法〉、児童福祉法				
	5	障害者に対する法制度 (3)		到達目標：障害者に対する職業リハビリテーションに関係する機関や支援者について説明できる。 到達目標：〈障害者虐待防止法〉の概要と障害者虐待の現状を説明できる。 学習内容：障害者の雇用の促進等に関する法律の概要、障害者虐待への対応				
	6	関係機関と専門職等		到達目標：障害児・者福祉に関わる関係機関や専門職等について説明できる。 学習内容：フォーマルな支援、インフォーマルな支援				
	7	障害者の生活実態等		到達目標：障害児・者の「生活実態」について、概要を説明できる。 学習内容：共生社会、親亡き後、成年後見制度				
	8	支援の実際		到達目標：障害児・者への支援の在り方について知見をもつ。 学習内容：触法障害者への支援ほか				
成績評価の方法・基準		試験の成績(100%)により評価する(対面・オンライン共通)。 なお、再試験は実施しません。						
教科書		障害者福祉 第2版		一般社団法人日本ソーシャル ワーク教育学校連盟編		中央法規		
参考図書		図解でわかる障害福祉サービス 障害者白書(最新版)		二本柳覚 内閣府		中央法規		
教員からの メッセージ		社会保障や社会福祉の制度を理解することは、専門職としてだけではなく、一人の「生活者」である皆さんにとっても重要なことです。自らの生活と関連づけて考えるようにしてください。現在の制度を理解するだけでなく、今後の制度についても思いをはせられるようになってほしい。新たなサービスを模索・提案することも対人援助職の職責の一つだと思います。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						